

# A6 POP W148×H105(mm)

タイトル：海獣学者、クジラを解剖する。(ISBN 番号：9784635062954)

著者名：田島 木綿子(たじま・ゆうこ)

出版社：山と溪谷社



**彼らはなぜ、陸を捨てて海を選んだのだろう。**

クジラやイルカをはじめ、アザラシ、アシカ、ジュゴンにマナティといった海の哺乳類は、私たちヒトと同じ哺乳類でありながら、進化の長い歴史の中で、やっとこさ海から上陸生活を営み始めたにもかかわらず、再び海へ戻っていったことがわかっている。彼らはなぜ、陸を捨てて海を選んだのだろう。海での暮らしに適応するために、どのように進化していったのだろう。そして、なぜ自ら海岸に打ち上がってしまうのだろう。

本書では私の20年の研究生活をもとに、海の哺乳類の生態や身体の構造・機能などを紹介するとともに、海岸に打ち上がる謎にも可能な限り迫っている。本書を通じて、彼らの溢れんばかりの魅力と、彼らの死体から私が受け取ったメッセージをお届けできれば嬉しい。



出版社：山と溪谷社

著者：国立科学博物館 動物研究部 田島 木綿子

素材提供：山と溪谷社

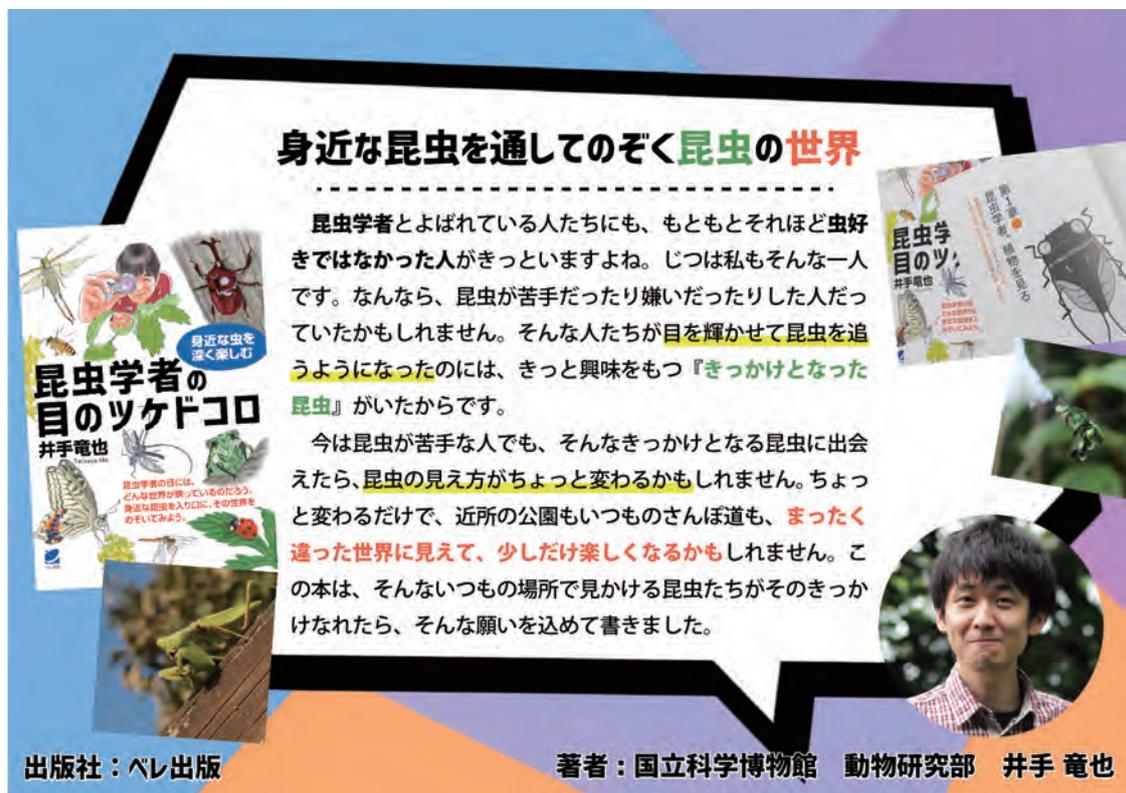
作成：国立科学博物館

# A6 POP W148×H105(mm)

タイトル：昆虫学者の目のツケドコロ（ISBN 番号：9784860646578）

著者名：井手 竜也（いで・たつや）

出版社：ベレ出版



**身近な昆虫を通してのぞく昆虫の世界**

.....

昆虫学者とよばれている人たちにも、もともとそれほど虫好きではなかった人がぎっしりいますよね。じつは私もそんな一人です。なんなら、昆虫が苦手だったり嫌いだったりした人だったかもしれません。そんな人たちが目を輝かせて昆虫を追うようになったのには、きっと興味をもつ『**きっかけとなった昆虫**』がいたからです。

今は昆虫が苦手な人でも、そんなきっかけとなる昆虫に出会えたら、**昆虫の見え方がちょっと変わる**かもしれません。ちょっと変わるだけで、近所の公園もいつものさんぽ道も、**まったく違った世界に見えて、少しだけ楽しくなる**かもしれません。この本は、そんないつもの場所で見かける昆虫たちがそのきっかけなれたら、そんな願いを込めて書きました。

昆虫学者の目には、こんな世界が映っているのだから、身近な昆虫を入り口に、その世界をのぞいてみよう。

昆虫学者の目を通してのぞく昆虫の世界

井手竜也

出版社：ベレ出版

著者：国立科学博物館 動物研究部 井手 竜也

素材提供：ベレ出版  
作成：国立科学博物館

# A6 POP W148×H105(mm)

タイトル：アラン・オーストンの標本ラベル (ISBN 番号：9784893089373)

著者名：川田 伸一郎 (かわだ・しんいちろう)

出版社：ブックマン社

## 皆さん**歴史**は好きですか？



僕は学生のころ歴史はあまり好きではなく、**大の苦手**でした。でもこの年になってモグラの研究をやるようになって、**モグラってどういう人たちがこれまでに研究してきたのだろうか**、といった昔のことが気になり始めました。苦手だったはずの**歴史も**、不思議なことに**モグラに関連づけると面白いように覚えられる**ものです。

この本はそんな僕が大人になってから調べてきた、超マイナーな**歴史物語**をまとめたものです。間違いなく学校の勉強には役に立たないですが、**過去を学ぶ大切さと楽しさ**が伝わればうれしいな、と思います。



出版社：ブックマン社

著者：国立科学博物館 動物研究部 川田 伸一郎

素材提供：ブックマン社

作成：国立科学博物館

# A6 POP W148×H105(mm)

タイトル：標本バカ (ISBN 番号：9784893089342)

著者名：川田 伸一郎 (かわだ・しんいちろう)

出版社：ブックマン社



## 博物館の舞台裏では何が行われているのか？

派手な展示に代表される博物館活動は、そのバックヤードにある**標本コレクション**に支えられている。そして**コレクションを収集・管理**するのが我々の仕事。日々**標本のために汗する舞台裏生活**では、様々な事件が起こる。そんな僕の日常をつづったエッセイ集です。標本作成の現場は赤い液体にまみれてますし、実際は大変臭いので敬遠しがちかもしれません。

しかし、幸いにも本ですし、写真の代わりに浅野文彦さんの素敵なイラストがソフトに臨場感を出してますから心配ご無用。ぜひ**博物館の標本世界に足を踏み入れられてはいかがか。**

出版社：ブックマン社

著者：国立科学博物館 動物研究部 川田 伸一郎



素材提供：ブックマン社

作成：国立科学博物館

# A6 POP W148×H105(mm)

タイトル：もがいて、もがいて、古生物学者!! (ISBN 番号：9784893089311)

著者名：木村 由莉 (きむら・ゆり)

出版社：ブックマン社

**かはく大好き子が、  
科博の研究者になるまでのストーリー**

タイトルをみて少しでも興味をもってくれたのなら、きっと、古生物学者になりたいと思ったことがあるのだと思います。絶滅した動物を探し求める冒険が、シゴト現場。地球上から姿を消してしまった古生物を探すロマンは、実際のところ「泥マミレ、砂ダラケ、成果チョット」の繰り返し。でも、そのチョットを目にすると、疲れは一気に吹き飛んでいく。

恐竜の研究がしくて、小さな哺乳類化石にたどりついた自分ストーリーは、「古生物学者になりたい」という気持ちを本気モードにしたい人、その夢を応援してあげたい人のレシビになれたらと思い、つづりました。うん、すごくニッチな本だ(笑)。

出版社：ブックマン社

著者：国立科学博物館 地学研究部 木村 由莉

もがいて、もがいて、古生物学者!!  
木村由莉  
恐竜少女が世界的な哺乳類化石研究者に大進化! 痛快な成長ストーリーを体験できる本。必読!!  
小林快次

100000000  
いちばんの  
まえのし  
年  
前の石

30分! 10分! 5分!

もがいて、もがいて、古生物学者!!

素材提供：ブックマン社

作成：国立科学博物館

# A6 POP W148×H105(mm)

タイトル：深読み！絵本『せいめいのれきし』（ISBN 番号：9784000296601）

著者名：真鍋 真（まなべ・まこと）

出版社：岩波書店

**あなたの 2021 年版「せいめいのれきし」  
のような絵本を作ってみませんか？**

バージニア・リー・パートンさんの「せいめいのれきし」という絵本をご存知ですか？パートンさんがニューヨークのアメリカ自然史博物館に展示されている化石をもとに、**生物の進化、栄枯盛衰を舞台劇のように解説**しています。日本語版は1964年に出版され、2015年には文章の改訂版が出版されていますが、絵は変わっていません。

この五十数年間の学問の進歩について、解説したのが「**深読み！絵本『せいめいのれきし』**」(2017年)です。この夏休み、国立科学博物館など身近な博物館を舞台に、**あなたの2021年版「せいめいのれきし」**のような絵本を作ってみませんか？まずは**一番好きな時代を選んで**、そこから始めてみませんか？

**出版社：岩波書店**  
イラスト画像：『せいめいのれきし 改訂版』  
(バージニア・リー・パートン文・絵、いしいももこ訳、まなべまこと監修、岩波書店刊)より

**著者：国立科学博物館 副館長 真鍋 真**

素材提供：岩波書店  
作成：国立科学博物館